



2014-2018
第2期

生きる力



絆

きずな

の埼玉教育プラン

― 埼玉県教育振興基本計画 ―



生きる力きずなと絆きずなの埼玉教育プラン

— 埼玉県教育振興基本計画 —

- ▶ 教育基本法に基づく本県の教育振興基本計画です。
- ▶ 県政全般の総合的な計画である「埼玉県5か年計画—安心・成長・自立自尊の埼玉へ—」を踏まえた教育行政分野の計画です。
- ▶ 中長期的な視点に立って策定した計画です。

- ▶ この計画は、学校の教職員をはじめ教育関係者が共通認識を持ち、創意工夫を重ね実践に取り組んでいく上での土台となるものです。
- ▶ 県民の皆様にもこの計画を御理解いただき、社会全体で教育に取り組んでいく契機にまいります。
- ▶ 計画期間は平成26年度から平成30年度までの5年間です。

基本理念

生きる力を育てきずな絆を深める埼玉教育

生きる力きずなについて

先行きが不透明な社会の中で、自らの人生を切り拓いていくために必要となる力です。基礎的な知識・技能を確実に習得し、それらを活用して、考え、判断し、表現することによる問題解決力や、豊かな人間性、たくましく生きるための健康・体力を示しています。

絆きずなについて

人と人のつながりや学校・家庭・地域の結び付きの大切さを象徴した言葉です。困難な時代を乗り越えるために、子供たちが豊かな人間関係を築き、深めるとともに、社会全体で子供たちを育てていくことを示しています。

埼玉の子供たちの将来のために

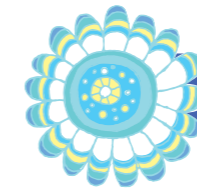
埼玉の子供たちの将来

夢や志を持ち、
学びを通して人生を切り拓き、
幸福な生涯を実現するとともに
社会の中で役割を果たす
ことのできる人間

すべての県民が
子供たちの将来をしっかりと考え、
それぞれが役割を果たすとともに、
教育力を結集して、
子供たち一人一人を
認め、鍛え、育みます。



基本目標



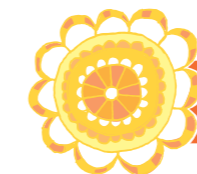
I 確かな学力と自立する力の育成



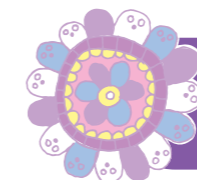
II 豊かな心と健やかな体の育成



III 質の高い学校教育を推進するための環境の充実



IV 家庭・地域の教育力の向上



V 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進



5つの基本目標と24の施策



基本目標Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成

施策

- ◆一人一人を確実に伸ばす教育の推進
- ◆確かな学力の育成
- ◆伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進
- ◆時代の変化に対応する教育の推進
- ◆キャリア教育・職業教育の推進
- ◆幼児教育の推進
- ◆特別支援教育の推進

主な取組内容

- ▶「学力・学習状況調査」の実施、児童生徒一人一人を確実に伸ばす教育の研究・実践
- ▶協調学習など主体的な学びの推進、小・中学校9年間を一貫した教育の推進
- ▶我が国や郷土の誇りを育む教育の推進、高校生の海外有名大学への派遣
- ▶科学技術教育の推進、環境教育、資源・エネルギー教育の推進
- ▶地域や産業界と連携・協力したキャリア教育の推進
- ▶子育ての目安「3つのめばえ」、「接続期プログラム」の活用促進
- ▶自立と社会参加を目指した特別支援学校の設置と教育内容の充実 など



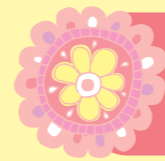
基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

施策

- ◆豊かな心を育む教育の推進
- ◆いじめ・不登校・高校中途退学の防止
- ◆生徒指導の充実
- ◆人権を尊重した教育の推進
- ◆健康の保持・増進
- ◆体力の向上と学校体育活動の推進

主な取組内容

- ▶本県独自の道徳教材「彩の国の道徳」の活用推進、「埼玉の子ども70万人体験活動」の推進
- ▶いじめ対策の推進、教育相談活動の推進、定時制高校生の社会的自立に向けた支援
- ▶生徒指導体制の充実、非行・問題行動の防止
- ▶人権問題を主体的に考え行動する児童生徒の育成
- ▶望ましい食習慣を身に付けさせる食育の推進
- ▶学校体育の充実、外部指導者の活用などによる運動部活動の充実 など



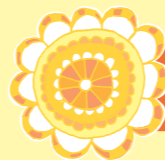
基本目標Ⅲ 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

施策

- ◆教職員の資質能力の向上
- ◆学校の組織運営の改善と魅力ある県立高校づくり
- ◆子供たちの安心・安全の確保
- ◆学習環境の整備・充実
- ◆私学教育の振興

主な取組内容

- ▶優れた教職員の確保、教職員研修の充実、大学や研究機関と連携した学校経営の研究
- ▶学校の組織体制の整備・充実、魅力ある県立高校づくり
- ▶耐震対策の推進、自ら危険を予測し回避する能力の育成
- ▶学校施設の整備推進、高校生などに対する修学の支援
- ▶私立学校の教育環境の充実や保護者の経済的負担の軽減 など



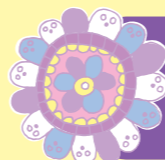
基本目標Ⅳ 家庭・地域の教育力の向上

施策

- ◆家庭教育支援体制の充実
- ◆地域の教育力の向上
- ◆学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

主な取組内容

- ▶「親の学習」の推進、親同士のネットワークづくりへの支援
- ▶「学校応援団」の活動の充実、「放課後子供教室」への支援
- ▶「彩の国教育の日」、「彩の国教育週間」における取組の推進 など



基本目標Ⅴ 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

施策

- ◆学び合い共に支える社会を目指す生涯学習の推進
- ◆文化芸術の振興と伝統文化の継承
- ◆スポーツを通じた元気な埼玉づくり

主な取組内容

- ▶生涯学習活動の支援、「子ども大学」の推進、県立図書館における県民のチャレンジ支援の充実
- ▶県立美術館・博物館における活動の充実、文化財の保存・活用
- ▶スポーツ・レクリエーション活動の推進、ジュニア期からの競技スポーツ選手の育成 など





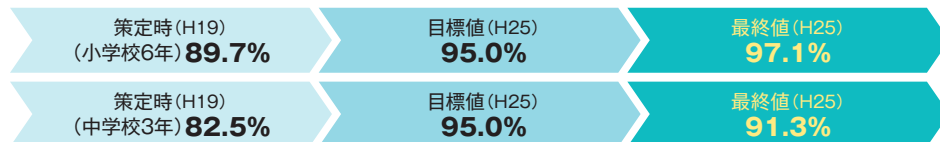
— 計画に関する Q & A —



Q 第1期計画ではどのような成果があったのでしょうか。

A 第1期計画では、市町村とともに、「教育に関する3つの達成目標」や「埼玉の子ども70万人体験活動」、「学校応援団」の推進といった埼玉独自の取組を積極的に進めてきました。対象となるすべての学校で取組が実施され、基礎学力定着度の着実な上昇や多岐にわたる体験活動の実施、また、学校の教育活動を支援する環境の整備が図られました。

指標 『「教育に関する3つの達成目標」における基礎学力定着度』の達成状況



指標 「地域や家庭が学校を支える『学校応援団』の組織率(小学校)」の達成状況



Q 第2期計画の特徴はどのような点でしょうか。

A 施策体系のトップに「一人一人を確実に伸ばす教育の推進」を位置付けました。子供たちを集団として捉え、全体としての学力や体力などの課題を見つけ、改善していくことは大事です。それとともに第2期計画では、特に、一人一人の知・徳・体の成長に着目し、「よさを伸ばす」、「わからないところをわかるようにする」、つまり、一人一人を確実に伸ばすことに教育の重点を置いて取り組んでいきます。また、今回新たに「埼玉教育の特色ある取組」を明示しました。教育の根幹は、日々の授業をはじめとする学校の教育活動であり、その積み重ねです。市町村とともに、新たな「埼玉県学力・学習状況調査」の実施や、共生社会を目指した「多様な学びの場」の充実など、学校の教育活動を支える特色ある取組を進めていきます。

Q 計画の進み具合のチェック(進行管理)はどのように行うのですか。

A この計画の推進に当たっては、施策の実施結果を評価し、改善を検討していくこと(政策マネジメントサイクル)が重要です。このため、24施策に33の指標を設定し、これも参考としながら施策の成果を評価していきます。また、その評価については、毎年度公表し、県民の皆様への説明責任を果たしていきます。

施策指標の設定例

施策 いじめ・不登校・高校中途退学の防止



2014-2018
第2期

生きる力と絆の埼玉教育プラン

埼玉県・埼玉県教育委員会

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
Tel.048-830-6990

[プラン全体はこちら](#)

[第2期 生きる力と絆の埼玉教育プラン](#)

[検索](#)



埼玉県のマスコット「コバトン」